

# ナリスト

日本ジャーナリスト会議 (JCJ)  
 〒101-0051 千代田区神田神保町1-18-1 千石屋ビル402号  
 電話 03-3291-6475 FAX 03-3291-6478  
 メールアドレス: jcj@tky.3web.ne.jp http://www.jcj.gr.jp  
 年間購読料3,000円(送料込み) 振替・00190-2-76501



2015.7.25

## 6月4日の質疑で

### 「慰安婦」問題でセミナー

#### 「吉田証言は生きていける」「元「赤旗」記者が訴え

「慰安婦」の強制連行

をめぐる故吉田清治氏の証言記事を「朝日新聞」や「赤旗」などが取り消したことをめぐり、その吉田氏にインタビューしたフリージャーナリストで元「赤旗」記者の今田真人氏(59)が、「吉田証言は虚偽ではない」と異議を唱え、再検証を求めている。

市民団体「戦争と女性への暴力」リサーチ・ア

経験も語られた。  
 ヨコスカ平和船団の新倉裕史さんからは、海外派遣に悩んでいる自衛官の相談に乗る取り組みが必要という提起もあった。

(神奈川県支部)



今田真人氏

クシオンセンター(VA

WW RACII略称パウラック)が主催するセミナー(6月27日、東京都立教大学)で講演し、その理由を語った。

「朝日」が吉田証言を「虚偽」と断じて取り消したのが昨年8月5日。しかし今田氏は「検証特集を何度読んでも、吉田証言が『虚偽』だと断定できる明確な証拠は示さ

れていない」という。

「虚偽」だとする根拠の一つが「2014年4月5日、済州島内で70代後半、90代の計約40人に話を聞いたが、強制連行したという吉田氏の記述を裏付ける証言は得られなかった」という理由。

これについて今田氏は、その約40人は当時本島に済州島に住んでいたのか、どこでどんな仕事を

をしていたのかなど、肝心の身元調査さえしない十分な調査だと反論する。

さらに戦後、島民の5人に1人に相当する約3万人が虐殺された済州島事件(1945〜57年)などの歴史的な背景を無視した調査であると指摘。「生き残った人の多くが日本に逃れた。『朝日』が取材した済州島のお年寄りも、弾圧に手を貸した側かも知れず、そうだとすれば、現在の済州島の住民からの裏付けは

困難だ」と批判した。吉田氏が「カムフラージュした」と語っている点について今田氏は「自分以外の加害者に迷惑をかけたくなかったから」として上で、「被害者が連行された日時、場所などは全部事実だと語っていた」と強調した。

また今田氏は、「朝日」が指摘するほかの根拠についても、旧内務省の公文書などの資料を示しながら、「当時の状況からすれば不自然ではない」と力説した。

今田氏の主張は、4月に同氏が緊急出版した『吉田証言は生きていける』(共栄書房)や「週刊金曜日」(6月26日付)に詳しい。

菊地正志  
 「吉田証言」山口県労務報国会下関支部動員部長「だった吉田氏は1943〜45年にかけて、西部軍司令部の動員命令により、「慰安婦」にするため、済州島や朝鮮半島から朝鮮人女性約9500人を暴力的に狩り出したとする証言。

日本が、あのへ大東亜戦争に敗れ、例のへ玉音放送をラジオで聞いて、「ただむやみに泣いて、しまいに声を出していた」と自ら書き記す作者が、「あれは一体なんだったのだろう?」とズーと一考(能登剛)は、戦争と考えると書いて書き中、家に掘った防

舞台は、半分倒壊しかかった家屋。当主柴田欣一郎(能登剛)は、戦争

くるのは、今やすでに焼けてしまった家の建築費の取り立てにやってくるお光(光藤妙子)だったが、金を受け取ることが無理だと知った彼女は、

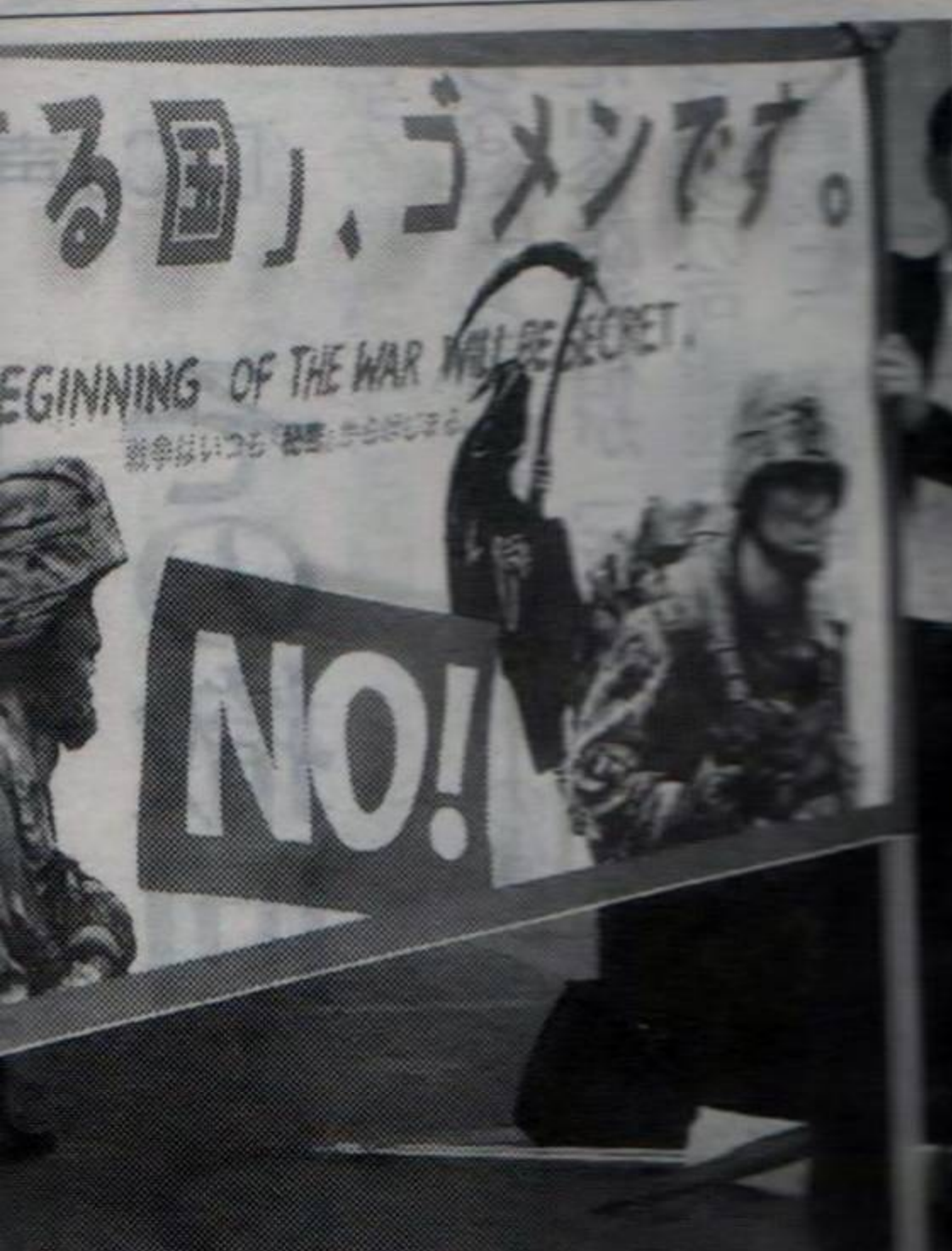
を作るべく組合活動をすすめるマルキスト。次男の欣二(南保大樹)は、特攻隊崩れで、いまや身を持ち崩したニヒリスト。そして次女の双葉(古田美奈子)、さらにはこの家に身を寄せるせい子(名越志保II文学座)、富本

### きか作品

## うねりを全国に広げ、廃案に

憲法違反の「戦争法案」強行採決を巡り、市民の怒りが国会を包囲した。強行採決の前夜、日比

安倍政権が「戦争法案」の強行採決を強行した。この横断幕は15日は、「総がかり



戦争法案反対の街頭宣伝活動の前で 酒井憲太郎撮影

たが、自民党と公明党は委員会でも強行採決したそうです。7月15日昼過ぎ、宣伝カーの上で、ちようど話していた自由法曹団幹事長の今村幸次郎弁護士が声を上げた。JCJと自由法曹団、

「秘密保護法共同行動」に取り組んできたが、戦争法でこれを再開するこ

強行採決の前夜、日比

する国、コメンです。の横断幕を掲げ、集会に参加した。この横断幕は大

民に通じることを願